

学年研修目標

自分の思いを持ち、自然や仲間との関わりを大切に活動する子

活動のテーマ

どきどき わくわく！ ともだちいっぱい

○具体的な活動内容と児童の表れ

[1 学期]

1. ともだちいっぱい(しんぼるまーくだいさくせん、がっこうたんけん、あくしゅだいさくせん)

しんぼるまーくだいさくせん

4月半ば、学校生活が始まったばかりの子供たちに、自分のマークを決めて、友達と紹介しあおうと声をかけ、シンボルマーク作りをした。子供たちは、自分の好きな生き物や花、果物などからマークを決め、机やイス、ロッカー、下駄箱、袋かけなど好きなところに貼った。また、初めての参観日には、みんなの前で、自分のシンボルマークを発表しあった。さらに、シンボルマークと名前を書いた名刺を作り、体育館で、学年全体の友達と、自己紹介をしながら名刺交換を行った。このような活動の中で、子供たちは、自分のマークに愛着を持ち、学年全体の友達と仲良くしていこうという気持ちを持つことができた。

がっこうたんけん

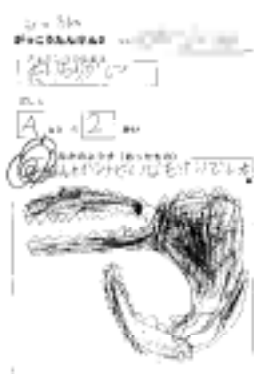
5月10日、少しずつ学校に慣れてきた子供たちは、2年生に案内されて学校探検を行った。子供たちは、学校の中のいろいろな教室があることを初めて知り、2年生といっしょに楽しく活動できた。特に、理科室や音楽室、視聴覚室などの特別教室に興味を持ち、また探検したいという気持ちになった。そこで、今度は、自分たちで探検しようと、5月31日と6月6日の2回、学校探検を行った。子供たちは、第1理科室のワニの模型を見て驚いたり、上級生がパソコンを使って勉強しているのを見て感心したり、図書室のたくさんの本を見て驚いたりしていた。

(資料1 参照)

あくしゅだいさくせん

学校探検をして、いろいろな先生がたくさんいることを知った子供たちは、先生たちの名前を知って仲良くなりたいと言いだし、6月28日から1週間ほど握手大作戦を行った。はじめは、自分の名前を言うのも恥ずかしがっていた子供たちも、だんだん慣れてきて、楽しそうにいろいろな先生からサインをもらっていた。そして、たくさん先生の名前を覚えた子供もいた。

(資料1) (がっこうたんけん)



2. いきものだいすき (あさがおともだち、どうぶつとなかよし)

あさがおともだち

5月7日にアサガオの種まきをした子供たちは、2年生からもらったペットボトルを使い、毎日いっしょうけんめいに水をあげ、芽が出るのを心待ちにしていた。芽が出て、本葉も出、どんどん大きく育っていく様子を毎日楽しみにし、友達のアサガオの様子とも比べあっていた。花が咲いたときは、嬉しそうに担任に報告に来た。花の咲いた数だけカードに色塗りをし、だんだん増えていくのも楽しみだった。その後、夏休みには、家でも観察し、秋には、種取りもして、来年の1年生のためにプレゼントしようということになった。

どうぶつとなかよし

7月4日、買っていただいたチャボ4羽と、知り合いから借りてきたウサギ2匹と遊び、触ったり抱っこしたりした。チャボは、まだ雛で小さかったので、抱っこしやすく、子供たちも怖がらずに触れ合うことができた。家で動物を飼っている子は、さすがに扱いに慣れていて、大きなウサギもすぐに抱きかかえることができた。抱くことができない子供たちも、友達が抱いたのを触って喜んでた。チャボの羽やウサギの毛がふわふわしている様子を実感し、生き物に親しむことができた。

(資料2 参照)

(資料2) (どうぶつとなかよし)



[2 学期]

3 . ねんちょうさんとなかよし (ねんちょうさんとがっこうたんけん)

ねんちょうさんとがっこうたんけん

10月8日、耕雲寺幼稚園の年長児との仲よし会を行った。1学期に自分たちが、2年生に案内されて学校探検をしたことと、来年の1年生のためにアサガオの種のプレゼントを用意したことから、今度は、自分たちが、年長さんに学校を案内したり遊んだりしてあげようということになった。子供たちは、グループごとに、どこに探検しようか、なにをして遊ぼうかといっしょうけんめいに考えていた。迷子にならないように手をつないで歩こうとか、ボールは強く投げると怖がるかもしれないから、転がしドッジボールにしようなどと相談して決めていた。

当日は、緊張しながらも、年上の意識を持ち、優しく話しかけたり、丁寧に教えながら遊んだりする様子が見られた。年長児さんにも喜んでもらえたようで、子供たちからも、また遊びたいという声が聞かれた。 (資料3 参照)

(資料 3) (ねんちょうさんとがっこうたんけん)



4 . あきとなかよし (おちばや木のみであそぼう、おちばや木のみでつくろう、 ねんちょうさんとあきであそぼう、つくったものであそぼう)

おちばや木のみであそぼう

おちばや木のみでつくろう

10月の半ば頃になると、休み時間にアスレチックのあたりから、クヌギやシイの実を捨ってくる子が増えてきた。そして、拾ったどんぐりを転がして遊んだり、回して遊んだりする姿が見られた。また、10月25日には、千本浜公園へ行き、松ぼっくりをたくさん拾ってきた。そこで、木の実や落ち葉を使って何かを作ったり、遊んだりしたいということになり、それぞれ作りたいものを作って遊んだ。子供たちは、どんぐりごまやどんぐり笛を作ったり、松ぼっくりでクリスマスツリーや動物を作ったり、紙に貼って貼り絵を作ったりして遊んだ。

ねんちょうさんとあきであそぼう

11月7日、耕雲寺幼稚園の年長児との仲よし会の2回目を行った。今回は、自分たちで作った、どんぐりや松ぼっくりで作った遊ぶものを使っての遊びを計画した。子供たちは、こま回し、笛、けん玉、マラカス、どんぐり転がし、穴落とし、宝探し、松ぼっくり投げなどいろいろな遊びを考えて、準備をした。

当日は、体育館で行ったが、年長児は、こま回しやけん玉を特に喜び、楽しそうに遊んでいた。子供たちもいっしょに遊ぶことを楽しんでいた。（資料4 参照）

今後は、この活動をききょうまつりへとつなげていく予定である。

（資料 4） （ねんちょうさんとあきであそぼう）



○ 活動の反省と、課題

1. 活動の反省

- ・学校探検は、はじめは2年生と、次に1年生だけで、最後に年長児と行い、段階を追った活動ができた。2年生との探検により、興味付けができ、1年生だけの探検により、「どきどき わくわく」の楽しさを味わい、年長児との探検では、教えてあげるという意識を持ち、活動に広がりがあった。また、子供たちの成長も見られた。
- ・握手大作戦では、いろいろな先生と触れ合うことができ、子供たちには良かったが、先生達の仕事の迷惑になることも考えると、他学年の子供たちとの握手へと広げていっても良かったように思う。
- ・家で動物を飼っている子が少ないため、学校で生き物と触れ合うことができ、良かった。2学期の図工の学習ともつなげることができた。
- ・幼稚園の年長児との活動を通して、相手のことを考える気持ちが出てきた。また、話し合い活動に慣れ、グループでの話し合いが上手になってきた。

2. 課題

- ・南小は、落ち葉や木の実が豊富にあり自然に恵まれている一方、生き物に触れる環境作りが必要である。
- ・探検など、授業中の校舎での活動が多くなるので、今後も自分たちの興味ばかりが先行し、他の学年に迷惑をかけることがないように指導する必要がある。